

郷土ランナーが活躍

地区対抗女子駅伝・県下一周駅伝



↑大会1日目、スタートを走る中橋選手（写真中央）



↑タスキを受け取る池田選手（写真左）



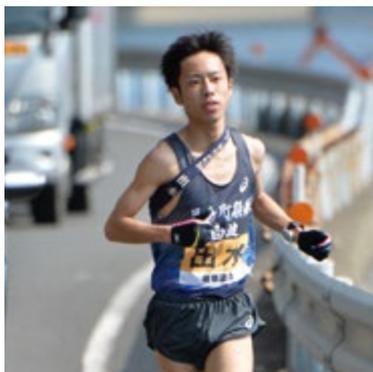
↑選手宣誓をする久保選手



↑大会最終日、アンカーを任された谷尾選手



↑雨の中を走る竹口選手



↑力走を見せる樋渡選手

鹿児島県地区対抗女子駅伝
 第30回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が1月29日に開催されました。出水チームに本町から選手として久保亜美さん（川床下出身）、マネージャーとして北園香代子さん（平尾小学校教員）が選出されました。久保選手は出水チームの主将として開会式で、力強い選手宣誓を

し、走っては2人を抜いて順位を上げるなど活躍しました。
鹿児島県下一周市郡対抗駅伝
 第64回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会は2月18日〜22日の5日間の日程で開催され、出水チームに本町から、谷尾政樹さん（母良木）、竹口俊さん（川床下）、樋渡速太さん（菅牟田）、中橋信人さん（上揚、池

田智史さん（弊串出身）の5人が出場しました。
 地元入りとなる大会2日目は、2区中橋選手、3区樋渡選手が区間3位でタスキをつなぐ力走をみせ、各チームのエースが集まる7区を池田選手が粘走し、出水チームの日間3位に大きく貢献しました。
 （写真提供：南日本新聞社）